

第 7 回総務経済常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 7 年 10 月 14 日（火曜）		午前 9 時 3 0 分 開会	
	休 憩			
	午前 9 時 5 0 分 閉会			
	休憩時間： 0 時間 分		会議時間： 0 時間 2 0 分	
会 議 場 所	役場 3 階委員会室			
出席委員 氏 名	委員長 木村 淳彦		委 員 早苗 豊	
	副委員長 堀切 忠		委 員 伊藤 稔	
	委 員 鈴木 健充		委 員 菊池 秀明	
	委 員 正村紀美子			
説 明 員				
参 考 人				
欠 席 委 員 氏 名				
事務局職員	総務係主査 大石真澄			

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議 件

（1）協議事項

ア 令和 7 年 9 月定例会議の振り返りについて

資料 1

- ・委員長：9 月定例会議の振り返りを行う。各委員から、何かあるか。
- ・（なし）
- ・委員長：以上で協議事項「ア」を終了する。

イ 団体との意見交換会まとめ（商工会、消費者協会）

当日資料 2

- ・副委員長：先日実施した、商工会及び芽室消費者協会との意見交換会について、まとめたものである。
- ・委員長：各委員からご意見をいただきたい。まずは、商工会の部分について、ご意見はないか。
- ・（なし）
- ・委員長：次に、消費者協会の部分について、ご意見はないか。
- ・菊池委員：最後のページ。年号は平成ではないか。確認いただきたい。

- ・委員長：全体をとおして各委員会から、感想をいただきたい。
- ・伊藤委員：説明のとき、レーザーポインタがあるとよい。
- ・鈴木委員：商工会は経営者目線からの大局的な発言が多かった。消費者協会は、数字の根拠、他市町村との比較など、ミクロ的な意見が多かった。各立場から、様々な意見があり、参考になった。
- ・早苗委員：議長会の原価方式算定モデルを用いた説明だと、活動日数を町長と比較して、活動日数が多い、少ないといった話になる。この算式は、あくまで参考であり、説明はもっと丁寧にするべき。
- ・菊池委員：時間が足りなかった。一人ずつの意見への回答ができなかった。時間配分の再考が必要。
- ・委員長：今回のような意見交換会では、本音と言える部分と、言いにくい部分がある。実施後アンケートをとるほうが、率直な意見がきけるのではないかな。
- ・委員長：意見をもとに、記録を修正する。以上で、協議事項の「イ」を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

正副一任

(2) その他

- ・委員長：「その他」で各委員からないかな？
- ・(なし)
- ・ぎかいだより当番の再確認。
- ・委員長：議長からないかな？
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないかな？
- ・(なし)

以上をもって、総務経済常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	0名	合計	1名
令和7年10月14日 総務経済常任委員会委員長 木村 淳彦								
議長	副議長	局長	係長	主査	作成者氏名 大石 真澄			